

KTK 京都ライトハウス通信 第102号

編集人 鈴木紘一 / 社会福祉法人 京都ライトハウス / 〒603-8302 京都市北区紫野花ノ坊町 11
代表番号 TEL 075-462-4400 FAX 075-462-4402 / 鳥居寮 TEL 075-463-6455 / 船岡寮 TEL 075-463-4649 FAX 075-467-2788
URL: <http://www.kyoto-lighthouse.or.jp> / E-mail: info@kyoto-lighthouse.or.jp
郵便局振替番号 (京都ライトハウス) (運営資金寄付) 00960-5-153295 (後援会) 01090-3-9080 / 1979年(昭和54年)8月15日創刊

新任のごあいさつ 京都ライトハウス理事長 中谷佑一

この度、伝統ある京都ライトハウスの新理事長として就任することとなりました中谷佑一です。創立44年目の年に、しかも新築されたばかりの本法人の理事長として皆様と共に歩み始めることとなりました。これまでに培われた歴史と輝き続けてきた成果を受け継ぎ、これから繰り広げられようとしている「社会福祉の大改革」の厳しい現実には押し流されないよう、身の引き締まる思いで、この大役をお受けした次第です。どうか山口前理事長同様に皆様方のご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

私と京都ライトハウスの係わりは1991年頃に旧ライトハウスが雨漏りで大変な状況であった頃、私は京都市の民生局長として、建物の一部改修工事を予算化したことを思い出します。それから間もなくして「京都ライトハウスの建替計画」が京都市にも要望され、その後ずっとこの建物の動向が心の中にありました。

京都市会の全会派の賛同を得て京都ライトハウスの建替計画は大きな軌道には乗りましたが、ご承知のとおり、京都市財政非常事態宣言などのため、計画実現は最終期に大きな壁に阻まれました。しかし、その大きな壁を乗り越えることが出来たのは、まず今日まで、全国に誇れる視覚障害者に対する先進的な取り組みを続けてこられた皆様の努力と、自分達の力で何とかしていこうと言う自立・自助の伝統の信念によって大事業は見事実現の運びとなりました。私は、5月30日の京都ライトハウス理事会終了後、職員の皆様を前にこのようなお話をさせていただきました。そしてこれからは、福祉の制度改革が迫る中で事業の維持と、利用者サービスの拡充のための努力と、それへの機敏な対応が必要となってきます。

京都市はこの間、高齢者・障害者をはじめ社会的弱者と呼ばれる市民の方々の福祉拡充に向けた諸施策を通じて多くの新しい事業を展開してきました。京都ライトハウスもそうした京都市の大きな力で築かれた施設の一つです。私達は今後も視覚障害者の方々をはじめ、障害者の方々の総合施設として全国に誇れる施設づくりを目指して参りたいと思います。これまでに培われた蓄積を生かし、新たな時代の変化への機敏な対応を忘れないことをモットーに、皆様の声を利用者サービスに反映できる施設でありたいと願っています。

最後になりましたが、京都ライトハウスが益々発展し、多くの利用者、府・市民の方々に安心と福音を与え、何時までも輝き続けられますよう、皆様と共に前進してまいりたいと存じます。どうかよろしくお願い申し上げますと共に就任のご挨拶とさせていただきます。

退任のごあいさつ 京都ライトハウス前理事長 山口英太郎

このたび2005年5月29日をもって理事長を退任させていただくことになりました。

思い起こしますと、私が京都ライトハウスに理事としてかわるようになりましたのは16年前で、当時は旧館(元京都市交通局病院)で5つの事業を展開しておりました。1991年頃には館内いたるところで雨漏りがあり、京都市にご無理をお願いして多額の改修費を投入していただきました。このような状況のなかで、京都府視覚障害者協会の皆様が組織を挙げて取り組まれた「京都ライトハウスの早期改築への具体的措置」を求める請願が、1996年3月京都市会において全会派一致で採択されたことを忘れることができません。1997年5月、理事長に就任後一刻も猶予できない状況であったため、7月に「新京都ライトハウス建設委員会」を設置し、9月には「新京都ライトハウス建設についての要望書」を中橋彌光建設委員長、塚原勇後援会長、京都ライトハウス理事長の連名で梶本京都市長に提出しました。その後、このたび新理事長にお迎えした中谷さんと、各方面に建設資金のご協力依頼に回ったものでした。大変なお力添えをいただいた京都府視覚障害者協会の皆様、京都ライトハウスの役職員や後援会の皆様をはじめ各方面の多くの方々とともに、数多くの苦難を乗り越えてきた日々がなつかしく思い出されます。

京都市の厳しい財政状況の中での最大のご支援と、京都府をはじめ府下各自治体、京都ライトハウス後援会の皆様など幅広い多くの方々のご支援にささえられ、街頭募金やチャリティーコンサートなどさまざまな募金活動や、左京区高野の仮施設への一時移転など困難な諸課題をなんとか克服し、設計期間を含め6年の整備期間を経て、従来の地で多くの皆様と共に「新京都ライトハウス」の竣工を迎えることが出来た時の、あの大きな感動が忘れられません。

新京都ライトハウスは全国的にも際だった視覚障害児者の総合福祉施設として、名実共に新たな一歩を踏み出したところです。私たちは施設創設者の鳥居篤治郎初代館長・理事長(京都市名誉市民)の教えや、その精神を受け継いでこられた多くの先達や職員各位の並々ならぬ研鑽の足跡を消すことはできません。京都における視覚障害者の灯台として、今後益々大きな役割を果たしていけることでしょう。

関係機関と各界の多くの皆様方からのご指導とご支援に応え、更なる新たな段階への発展と期待をこめて、中谷新理事長に引き継いでまいりたいと存じます。

最後になりましたが、改めて永年にわたりご協力、ご指導を賜りました関係機関をはじめ、各界の多くの皆様に深く感謝し、心から御礼申し上げます。

2004 年度 京都ライトハウス決算報告

4 月 1 日の事業開始に伴い、一般会計に「らくらく」、授産会計に「F S トモニ」を、12 月 1 日の事業開始に伴い公益事業会計に「眼科相談診療所」の各会計を新たに設けました。

また、建築整備工事が竣工したことにより、前年度まで計上していました建設整備会計 (1,236,846 千円) が無くなり、大幅に減額となりました。

本部会計において、減額 (対前年度決算比において 176,194 千円) となっていますが、前年度は本部会計から同額を建設特別会計へ繰り出したことによるものです。

支援費制度のもとでの施設においては、利用料収入を上げるために利用者の拡大の努力を図り、また、施設会計 (図書・出版) においては事業を積極的に受託するなど創意工夫を重ねる一方で、経常経費については極力節減に努めたことから、実質的には収支バランスをとることができました。

新館竣工に伴う維持管理費について光熱水費は 7,541 千円 (1.47 倍)、業務委託費は 24,190 千円と前年度からは大幅に増額になりました。業務委託費の主なものは、建物保守管理費 (設備管理、防災設備、環境衛生)、給食業務委託費、送迎タクシー委託費等です。

<会計別決算状況>

(1) 社会福祉事業会計

① 本部会計

改築整備資金の寄附がなくなったため、一般寄附金が増額となりました。竣工後に多人数の方が見学に来館されており、その際に頂いた謝礼も増額の要因です。

② ライトハウス施設会計

雑収入が大幅に増額となりましたが、京都府視覚障害者協会からの諸経費の分担金収入や、貸し室料収入、喫茶「きらきら」の売上収入などによるものです。また、人件費支出が増額となったのは退職者への退職金支給によるものです。

経常経費補助金のうち京都市からの補助金が前年度から減額となりました。

③ あいあい施設会計

保護者ニーズに応えた支援体制を充実させるために、定員数を通年にわたって充足させたため、利用料収入は前年度に比して大幅に増加しましたが、その結果京都市からの補助金が減額となりました。

④ 鳥居寮施設会計

途中退所や入院等で、定員枠の確保ができなかったため当初予算より利用料収入は減少しましたが、経常経費を圧縮したことにより、人件費・修繕積立預金に積み立て計上できました。

⑤ 船岡寮施設会計

前年度決算比で増加したのは、厨房の撤去・食堂の拡張の改修を執行したためです。改修費に引き当てるため、本部会計のその他積立金を取り崩し船岡寮会計へ繰り入れました。

⑥ らくらく施設会計

予算策定時のデイスサービスに対する支援費の算定基準が事業開始前に利用時間の基礎額が改定されたことにより、利用料収入が予算に対し大幅に減収となりました。

収支で欠損が生じたため経理区分間繰入金で収支のバランスを図りました。

(2) 授産事業会計

① F S トモニ会計

新規の事業開始の中で、年間で定員を充たすことができ、備品等購入積立金を積み立てることができました。

授産活動による収支につきましては授産科目において差異はありますが、売上は毎月増加の傾向にあります。

(3) 公益事業特別会計

① 日常生活用具会計

取扱い収入の増収と特定寄附金収入があったため、当期繰越金を計上することができました。

② 眼科診療所会計

12 月からの事業スタートとなりましたが、京都市の補助金は月 2 回で算定されているため、京都府眼科医会からの事業補助で収支バランスを保つことができました。

永年の信用・まごころのご奉仕

葬祭センター

公益社

本社／京都市中京区烏丸通三条下ル ☎075(221)4000
フリーダイヤル ☎0120-00-4200

◆ 葬 儀 式 場 ◆

公益社 北 ライトホール (堀川紫明) 京都市北区紫明通堀川東入 ☎(075) 414-0420
公益社 中央 ライトホール (五條大和路) 京都市東山区五條通大和路 ☎(075) 551-5555
公益社 南 ライトホール (堀川八条) 京都市南区堀川通八条下ル西側 ☎(075) 662-0042
公益社 西 ライトホール (五條西大路) 京都市右京区五條通西大路西入ル南側 ☎(075) 322-0042
公益社 宇治 ライトホール (宇治横島) 宇治市横島町 (文教大学前) ☎(0774) 20-0042
公益社 滋賀 ライトホール (大津) 大津市朝日が丘 1 丁目 ☎(077) 523-0042



位

決算規模 （単位：千円 2005 年 3 月 31 日）

	社 会 福 祉 事 業						
	本 部	ライトハウス施設	あいあい	鳥居寮	船岡寮	らくらく	小計
収 入	84,205	242,330	39,513	71,357	202,783	38,107	678,295
支 出	83,245	238,427	39,615	70,465	202,858	37,213	671,823
当期繰越金	960	3,903	▲ 102	892	▲ 75	894	6,472
累計繰越金	7,566	11,101	1,354	9,231	1,609	894	31,755
前年度決算額	259,439	257,394	36,236	71,752	173,398	-	798,219
対前年比	▲ 176,194	▲ 18,967	3,379	▲ 1,287	29,460	-	-
伸び率	0.32	0.93	1.09	0.98	1.17	-	-
会計間操作	▲ 22,600	0	1,000	0	19,300	2,300	0
繰入金収入	700	0	1,000	0	20,000	2,300	24,000
繰入金支出	23,300	0	0	0	700	0	24,000
	授産事業	公 益 事 業			総合計		
	F S ト モ ニ ー	用具	眼科	小計			
収 入	68,691	7,863	437	8,300	755,286		
支 出	61,302	6,717	410	7,127	740,252		
当期繰越金	7,389	1,146	27	1,173	15,034		
累計繰越金	7,389	2,829	27	2,856	42,000		
前年度決算額	-	5,294	-	5,294	803,513		
対前年比	-	1,423	-	1,423	-		
伸び率	-	1.27	-	-	-		
繰入金収入	0	0	0	0	24,000		
繰入金支出	0	0	0	0	24,000		

各施設会計における補助金等収入 （単位：千円）

所 属	総事業費	補助金 合計	京都府	京都市	その他の補 助金	利用料・措 置費	前年度総事 業費
本部会計	84,205	40,530	-	40,530	-	-	259,925
施設会計	242,330	170,450	16,871	148,412	5,167	-	263,916
あいあい会計	39,513	37,937	9,626	17,122	1,866	9,323	38,414
鳥居寮会計	71,357	70,304	-	1,350	-	68,954	79,171
船岡寮会計	202,783	169,013	-	4,998	7	164,008	174,076
らくらく会計	38,107	35,316	-	19,662	-	15,654	-
F S ト モ ニ ー 会計	68,691	61,470	-	18,175	385	42,910	-
眼科診療所会計	437	437	-	348	89	-	-

各部署別総事業費と人件費 （単位：千円）

会 計	総事業費	経常支出	俸 給	諸手当	非常勤職 員給与	退職共 済掛金	退職金	法定福利 費	合計	人件費 比率
本部	84,205	65,045	-	-	-	-	-	-	-	-
施設	242,330	233,009	69,988	44,281	39,666	1,142	16,135	17,358	188,570	80.9
あいあい	39,513	38,443	18,161	9,634	2,701	254	0	3,629	34,379	89.4
鳥居寮	71,357	64,354	24,206	15,102	6,773	338	2	5,511	51,932	80.7
船岡寮	202,783	200,951	52,175	33,502	13,961	634	8,065	12,028	120,365	59.9
らくらく	38,107	36,913	10,767	6,773	5,625	127	0	2,713	26,005	70.4
F S ト モ ニ ー	68,691	45,447	15,325	9,868	6,309	254	0	3,549	35,305	77.7
合 計	746,986	684,162	190,622	119,160	75,035	2,749	24,202	44,788	456,556	(73.7)
前年度	2,052,348	854,208	180,316	124,047	67,386	2,301	71	41,847	415,968	(72.7)
前年比	-	-	1.06	0.96	1.11	1.19	340.87	1.07	1.10	

注：（ ）は施設会計の経常支出における人件費の割合である。

京都ライトハウスの挑戦 －皆さんと共に歩む施設作り－

施設を取り巻く急激な変化への対応 (第 1 回)

既にご承知の通り、私たちと深く係わりのある「障害保健福祉改革のグランドデザイン」の位置付けで提出された「障害者自立支援法案」は、戦後の障害者福祉施策を大きく変えるものとも言われています。この法案が登場する背景は、2003 年度から施行された「支援費制度」が実施後、間もなく支援費支給額が予算以上に膨張し、財政破綻をきたしました。財政的な見なおしをされることになったことから生まれたものです。

この法案は「社会保障審議会・障害者部会」で検討され、昨年 10 月 12 日の同部会で取りまとめられました。そして本年 2 月 10 日の閣議決定を経て国会に上程され、現在は 5 月 11 日から衆院厚生労働委員会に移されて、国会審議が継続して行われているところです。

その特徴は、端的に言って身体・知的・精神の 3 障害へのサービスの一元化と利用料の 1 割自己負担などを柱とした法案です。言うまでもなくその狙いは、障害者福祉サービスの安定的な継続と、それを維持するための財源確保にあります。しかしその財源確保のために利用者負担の拡大、障害者の経済実態を考慮しない「応益負担」の導入などが主な争点となっています。また、介護保険制度導入時と比べて提案から実施までの準備期間が極めて短いうえに、当事者への周知不足と国民の広範な理解が得られないまま進められたことも先行きに対する不安を助長する要因になっているようです。国民全体の意識という面から見れば、介護保険は『高齢・介護』というだれもが直面する課題として共通認識が得られやすかったのに対し、今回の法案は時間的な余裕がなかったことだけではなしに、国民各層の広範な認識や理解が得にくい側面を指摘する人もいます。障害者の問題が当事者や家族の問題だけに止まらず、広く理解と共感をもって正しく普及することを願うばかりです。

さて、本法案に盛り込まれた制度改革上の課題の第

1 は、視覚障害者の外出支援を担ってきた「盲人ガイドヘルパー事業」いわゆる「移動支援事業」が支援費制度から「地域生活支援事業」に組み込まれた点です。ここには、この他に手話通訳派遣、盲ろう者向け通訳・介助者派遣、日常生活用具給付事業などが含まれ、視覚障害のある私たちには深い係わりのある部分です。今後は、市町村財源に委ねられることから、「市町村の裁量」に任されており、「地域格差」と併せて利用手続き等の詳細について明らかにされていないことなどの問題があります。とりわけ、これまでのガイドヘルプサービスが自立を支援する個別給付から外されたことが問題と言えましょう。

課題の第 2 は、福祉サービスにかかる費用負担が当事者のみの所得を基準にするのではなく、同一世帯の収入を算定基礎とする点です。この問題は障害者の自立との関係で反発の声が強く、各政党の修正案などにも反映されているところから運動の成果が期待されます。

課題の第 3 は、低所得者の多い障害者からの利用料負担をこれまでの「応能負担」から「応益負担」にする点です。障害者団体などからは、障害者への福祉サービスが「応益負担」の『益』に該当しないとして「応益負担論争」が展開されています。

課題の第 4 は、「障害程度区分」の調査項目の内容です。今回提示されている「障害程度区分」の調査項目のなかで視覚障害に関係する項目はごくわずかです。これは、障害を統一的に考えて共通なサービスとして提供するもので、これ自体は合理的な方法だと思いますが、やはり障害種別のニーズに対する個別的な対応がどこまで含まれるのかが今後の運動にかかっているのだと思います。

この間、京都ライトハウスでは本年 3 月に緊急の職員学習会を実施したのをはじめ、デイサービス、授産施設、あいあい教室、生活訓練部鳥居寮など、直接この影響を被る事業所を中心に外部の研修会などへ参加し、ひろくその動きや施設種別間の情報交換に勤めてきました。しかし、6 月時点に至っても行政当局からの新たな情報は少なく、「利用者を守り、事業を存続・発展させようとする思い」を抱えた現場の職員や法人関係者の「あせり」と「苛立ち」があるのも事実です。それは、実施時期だけが迫ってくるのに、今後の展望が示されないことに対する不安のあらわれでもあるのです。

次号では、当法人の関係施設が直面する具体的課題と利用者を守り、事業を存続・発展させる立場からの取り組みの現状についてご報告します。

(事務局次長 田尻彰)

消防設備・設計・施工・監理

その他消防用品販売



近畿報知機株式会社

京都市右京区嵯峨野嵯峨ノ段町 1 の 17

電話 (075) 881-2738 番 (代)

FAX (075) 881-8188 番

ライトハウス探訪 こんなことしています！ 第27回

大きな声で楽しむカラオケクラブ リーダー 佐川 せつ子 もとくさの 本草野 政雄

京都ライトハウスの地下音楽室に、お昼の 12 時 30 分頃になると、テープを持参した人達が三々五々集ってきます。家庭や娯楽場などで繰り返し覚えてきた曲を歌おうと勇んでこられるようです。

1 時 30 分には開始と決まっていますが、待ちきれず 1 時前から曲が鳴り、歌い始めるという盛況ぶりです。1 時頃には、音楽室はいっぱいになってしまいます。テープの頭出しをしてきたものをリーダーやボランティアの方々に渡しておき、順番が回ってきたら歌い始め、順次もれなく全員が歌えるよう配慮し、3 時 30 分の終了時刻までには、5・6 曲歌いきって帰途につくのが通常です。

視覚に障害がある人達の中に、テレビ・ラジオ・テープなどから各種のジャンルの音楽を聴き、口ずさんだり、曲について歌ったりする趣味や娯楽を持っている方がおられることに気づいたのは、1990 年頃です。この人達がライトハウスに集まりカラオケクラブをつくろうと考えたのは、1995（H7）年の始めでした。10 月の始めからオセロ、なつメロ、囲碁・将棋、民謡のクラブと共にスタートしました。その年から最早満 10 年が経過しました。カラオケクラブの最初から活動なさっている方々も多数いらっしゃいますが、毎月多くの人達と友達になり、「今日は誰がどんな歌を聞かせてくれるのか、またはじめて来られたこの方は、演歌なのか歌曲なのかポップスなのか」と期待しながら参加する日がたくさんありました。参加くださる方々には、多種多様な趣味があったり、視覚障害者としての生き様や体験を話したり交流したりする中で、人間関係も日に日に強まってきたように思います。

クラブが発足して数年した時に、リーダーが増えたりしました。歌う人が各自テープを持ってきてかけて歌う形がほとんどでした。8 トラテープを寄付していただいた

たのを整理して、それをかけて歌うことも多くなりました。ライトハウスの老朽化に伴い、高野にライトハウスの仮事務所ができて参加者が極度に減少する心配がありましたが、あまり減ることはなく、いつも多くの仲間と楽しむことができた様です。昨年 4 月から新京都ライトハウスが建設され、すばらしい音楽室で活動ができるようになったことや、篤志家の寄付によりレーザーカラオケ・DVD が備わり、カラオケ活動がいっそう魅力的になりました。昨年度 1 年間のカラオケクラブ参加者は、のべ 403 人にもなっています。

毎月第 1・第 2 月曜日の午後 1 時 30 分～3 時 30 分までが、カラオケクラブの活動日です。歌うことによってストレスを発散するなり、多くの人達と仲良くなったりされてはどうですか。字の見えない方には、ボランティアの方が字を読んでもらいますし、わからない事は何でも教えて下さいます。はじめての方も遠慮なく参加くださいますようお願いしています。



家族のこと、環境のことを考えたら・・・
「**すこやか**家づくり」※ はじめませんか！

～家も呼吸しているのが伝わってくる～

竹炭入り 天然の空気清浄塗料 壁材 うづくり健康フローリング
清活畳 ※ **幻の漆喰** **喰** 音響熟成® 木材



《新築はもちろん、増改築・介護リフォームも安心施工致します》

「**すこやか**家づくり」のシステム互法
ケアライフシステム
京都府下京区中堂寺南町105
GH五条701（五条七本松東南角）
TEL: 075-323-0330 FAX: 075-200-1034



アトピーや喘息、シックハウスでお困りの方など

特に実感して頂けます

<http://www.CLS0333.com>

点訳サービス・点字図書出版

有限
会社

オフィス

リエゾン

視覚障害者手帳をお持ちの人は点字図書が原本価格で購入できます。

出版総目録（墨字・点字）を無料でお送りします。

外国語・楽譜・立体コピー作図なども点訳しています。

お気軽にお問い合わせください。

TEL: 0774-56-3907

E-mail: liaison@kk.lij4u.or.jp

ホームページ: <http://liaison.ne.jp>

〒610-0121 城陽市寺田市ノ久保2-63

部署通信 ライトハウスだより

鳥居 寮

鳥居寮・春のレクリエーション

6月2日木曜日、「鳥居寮春のレクリエーション」を行いました。

お天気が良ければ、宝ヶ池周辺でタンデムサイクリングの体験と散策を行う予定でしたが、当日は朝から雨模様！予定を変更して、午前中はライトハウス4階ホールで「運動会」を、午後は日頃訓練のお手伝いや訓練生の通院などの手引きをしてくださっているボランティアの方々との「ボランティア意見交流会」を行いました。

運動会では、入所・通所・訪問の訓練生、ボランティア、職員、合わせて34人が4チームに分かれて、6つの競技を行いました。競技の内容は、アイマスクをして紐の上を歩く「直進レース」や、各チームの代表6人で一人一人が点字の1から6の点になり指定された文字を作る「人間点字」など、鳥居寮ならではのユニークなものばかり。中でも、各チームの代表3人がアイマスクをして時計を見ずに指定された秒数を計る「体内時計」という競技は、0コマ何秒の大変緊迫した争いになりました。競技に参加しない人たちも一緒になって秒を数え、静寂の中にもたいへんな盛り上がりを見せました。

思わぬ力を発揮する人、大きな声で応援する人、真っ赤な顔で競技に取り組む人…。訓練とはまた違う意外な面や素敵な笑顔が沢山見られました。

午後からの「ボランティア意見交流会」では、ボランティアの方々が日ごろ感じていらっしゃることや意見・要望などをお聞きすることができ、大変貴重な時間を持つことができました。また、アイマスクをしてお茶を入れる・お金の弁別をするなどの体験をしていただき、視覚が使えない不便さと工夫をすることの大切さを知っていただきました。



今後も、訓練の一環として、またボランティアの方々との交流の機会として、このような行事を行う予定です。

情報ステーション

「いまの話題」

録音図書がカセットテープからCDに、確実に変わりつつあることです。利用する機器も昨年4月から厚生労働省の日常生活用具に指定されて入手しやすくなりましたので、視覚障害者用に世界的に統一されている「デ

ジー」という方式で作成されたCDが着実に普及してきました。これは、聞きたいところへすぐにジャンプするなど便利な機能が沢山あるのですが、それよりも、高齢化社会を迎えて近年特に増加している、年を重ねられてから視覚障害となられた方々にとっても使いやすいのです。カセットテープは1冊の本が何巻にもなり、中途視覚障害の方の多くは点字が読めないの、テープの区別に四苦八苦しておられます。でも、デージーであればほとんど1枚のCDで収まりますので、扱いが非常に楽なのです。

もう1つの話題は点字の楽譜です。点字楽譜は個人用に作成されたものが多いためにどこにどんな楽譜があるのかすらわかっていません。実は、皇后陛下が、以前から親交のあったバイオリニストの和波孝禮氏にご提案されておられたのですが、この度、ご執筆されていた本の印税を提供されました。そして日本点字図書館理事長の田中徹二氏が尽力されて「点字楽譜利用連絡会」(代表：和波氏)が結成されました。この連絡会の事務局長を、情報ステーション所長の加藤俊和が、国際会議に日本代表として出席していますので、させていただきます。言うまでもなく京都は、特に邦楽については萩原正吟先生をはじめ、日本の音楽を支えてきた土地柄でもあります。そして京都ライトハウスは、鳥居篤治郎先生や林 繁男先生が1954年のパリでの点字楽譜会議に参加されたのをはじめ、日本の音楽界をリードしてこられました。これからは、貴重な全国の点字楽譜が、日本の視覚障害者の共有財産として活用されることが期待されています。このことについては、5月25日にはNHK京都、6月9日にはNHK関西のテレビニュース番組でも報道されました。

情報製作センター

好評の『Good・洛』配布資金を頂戴しました ーワコール労働組合様ー

情報製作センターのオリジナル出版で「京都を五感で楽しむガイドブック『Good・洛』」の製作・配布資金を頂戴しました。

全国の点字図書館や盲学校に、点字版88部・テープ版93本を配布し、1年目のご好評に因って2年目もお願いしました。ご援助分としては2005年夏号が最終号となりましたが、この間の進歩としては、取材した際の生録音をテープ版に盛り込んだり、点字版も読み応えがあるように内容の充実を図るなど、読者の心をしっかり捉えつつあります。



2年間にわたり多額のご援助をいただき、全国の視覚障害児・者に京都発のユニークなガイドブックが届けられたことを深く感謝申し上げます。

ます。ありがとうございました。

なお、引きつづきご援助のお申し出をいただいております。ドットテイル製の世界地図の製作・配布をメインに企画を練っています。何かご要望などありましたら、今後の企画の参考にさせていただきますので、お寄せいただければ幸いです。

船岡寮

北区鷹ヶ峰 常照寺 お茶会

5 月 28 日に、今年もすばらしい新緑のもとで、お茶会に御招待いただきました。

毎年、この日を利用者の皆さんは、とても楽しみにしておられ、17 人の方々が参加されました。

吉野太夫のお墓がある事で有名な常照寺は寮から車で 10 分と大変近く、お寺に着くとそこは山奥に来たかのような静けさです。

山門をくぐり、お庭に入ると楓の木立が頭上一面に緑の天井を広げています。

バイオリンや電子ピアノの演奏を聴きながら、おいしいお抹茶とお饅頭を頂きました。

この日、お世話をして下さるお寺の檀家の皆さんは、駐車場での車の誘導や、車椅子を押して案内して下さるなどと大忙しです。また、他の北区の老人ホームの方々も来ておられました。

寮のボランティアの方も 8 人参加して下さいました。

帰りの車の中では「本当に気持ちよかったね」と満足気な様子の利用者のお顔を見ては、いつもご招待下さる御住職をはじめ、様々な皆さんのお力添えがあつての事と思い、感謝の気持ちで一杯になりました。

あいあい教室

親子で楽しく遊んだよ！

あいあい教室では、6 月 6 日（月）から一週間、グループ毎に親子で公園に遊びに行きました。行き先はライトハウスのすぐ近く、大人の足では歩いて 5 分位の紙屋川公園や船岡公園。お母さんや先生と手つなぎで一生懸命歩く子ども、バギーに乗って行く子ども。途中の道に咲いているお花を触ったり、大きい石に座ってちょっと休憩したり、「歩こう歩こう…」と歌を歌ったりしながら、目的地まで向かいます。公園では、お母さんたちも童心に返って（？）すべり台を何度もすべったり、砂遊びをしたりと子どもたちと大いに楽しみました。

初めてシーソーに乗った E ちゃん。お母さんと一緒に安心して、初めての遊具も意外と平気でした。手つなぎでお外の階段を初めて降りた K くん。お砂遊びはみんなすっかり慣れて、触るのも大丈夫になってきました。Y ちゃんと N ちゃんは、小さい背中にリュックを背負って初めての遠足。お弁当もおいしかったね。初夏の暑い日だったけど、子どもたちは元気いっぱい外遊びを楽しみました。

お母さんと 2 人だけで公園に行くのは、とても勇気のこと。他の人にどう思われるかな…。外に行っても楽しめるのかな…。迷っている間に機会を逃して、結局どこにも出掛けられず…。そんな思いのお母さんも多いはず。でも、あいあいのお友達や先生と一緒に大丈夫。

みんなのキラキラの笑顔に出会えた取り組みでした。

F S トモニー

行楽シーズンは快晴つづき

F S トモニーでは「精一杯働いて、思い切り楽しむ」をモットーにしています。行事やバザーなど、なにかと屋外へ出かけることが多い季節となりました。今回はとても嬉しいことに出かけるたびごとにお天気に恵まれました。

4 月 14 日にはボランティアと新しく来られたメンバーの交流の意味も含めた花見に植物園へ出かけました。

今年の桜は案外に長持ちしました。ひょっとしたら散ってしまっているかもしれないと当日を迎えましたが、なんと見事に満開の桜、桜。ときおり吹く心地よい初夏の風が桜吹雪の演出までしてくれました。手作りのお弁当をひらひらとふりかかる桜の花がさらに彩を豊かにしてくれたのでした。



5 月 21 日には宇多野ユース hostel 主催の「グリーンフェスタ」で 50 店舗ほどのフリーマーケットの中に F S トモニーも出店しました。新緑いっぱいの庭園でのお祭りは「京小町踊り子隊」や「立命館大学ジャズクラブ」などの出演もあって楽しい催しでした。利用者の家族の方が育てた花卉や人気商品の「ギャルソンエプロン」などを販売しました。



5 月 31 日は京北の宇津峡公園へバーベキューに出かけました。ボランティアの方々も含め総勢 40 人を超える大所帯です。川原のせせらぎに足

をつけ、青空に飛び交う小鳥のさえずりに耳を澄ませて、自然を満喫してきました。また帰路に着く前には F S トモニーを旅立つお二人の惜別の時間を皆で共にしました。6 月 5 日は近くの船岡山公園で開催された「北区ふれあい祭り」へ出店しました。防災や環境問題など行政関連の啓発事業の催しが公園中で繰り広げられとても大勢の人出でした。ライトハウス建て替えの折の仮住まいとなった船岡山公園分室跡の横で、北区の共同作業所や授産所の皆様と肩を寄せ合つての出店でした。

おしらせ

■ライトハウス法人役員人事のお知らせ

当法人役員の任期が 2005 年 5 月 29 日をもって満了となることに伴い、5 月 27 日に開催された評議員会において、下記の方々が新しい理事及び監事に選任されました。また、評議員会に引き続いて開催された理事会において、下記の方々に評議員を委嘱することを議決し、全評議員の就任承諾を得ました。

引き続き 5 月 30 日には新理事による理事会を開催し、理事長に中谷佑一理事、副理事長に竹下義樹理事を選任いたしましたのでご報告申し上げます。

なお、新役員の任期は 2005 年 5 月 30 日から 2007 年 5 月 29 日までです。

理 事

浅山 邦夫、卯田 隆一、内野 正光、加藤 博史、
久保添 知宏、櫻庭 修、竹下 義樹、中谷 佑一、
鈴木 紘一

監 事

中橋 彌光、清水 久雄

評議員

浅山 邦夫、一谷 孝、卯田 隆一、内野 正光、
大須賀 秀雄、大橋 東洋彦、梶 寿美子、加藤 博史、
久保添 知宏、公文 茂人、櫻庭 修、白畠 庸、
竹岡 裕昭、竹下 義樹、田尻 彰、寺澤 武雄、
中澤 眞佐、中谷 佑一、前田 修二、森 貞子、
守屋 新、弓削 経夫、鈴木 紘一

■8月以降の眼科・ ロービジョン相談日程について

例年はお盆前後の相談日をお休みにして参りましたが、今年は暦の関係で特に休みを設けることなく実施します。8月以降の相談日は以下の通りです。なお、相談の費用は無料です。いずれの相談も事前予約制となっておりますので、下記連絡先までお電話下さい。詳細はご連絡のうち、ご確認ください。

連絡先：(075)-462-4400 (京都ライトハウス事務所)

相談日程

8月3日(水) 10日(水) 17日(水) 24日(水)
9月7日(水) 14日(水) 21日(水) 28日(水)
10月5日(水) 12日(水) 19日(水) 26日(水)

■夏季休館についてのお知らせ

京都ライトハウスの夏季休館は、次の通りとなっております。休館中は宿直及び日直も不在となりますのでご注意ください。大変ご迷惑をおかけいたしますが、宜しくお

願いいたします。

8月14日(日) 17時より8月16日(火) 午前6時30分まで完全に閉鎖させていただきます。8月15日(月)は終日休館となります。

また、情報ステーションは、8月10日の書庫整理による貸し出し休館を取りやめ、13日から15日までの3日間休ませていただきます。

喫茶きらきは8月13日(土)より8月21日(日)までお休みさせていただきます。ご注意下さい。

■「京視協より 登録ガイドヘルパー募集」のご案内

京視協ガイドヘルプステーションでは、視覚障害者の外出援助をしていただく登録ガイドヘルパーを広く募集しています。募集は、65才までの視覚障害者福祉に熱意のある健康な方を対象としており、8月中旬に面接を実施し、合格者には下記の日程で養成研修を受講していただきます。募集期間は7月4日から8月10日までです。ご希望の方は当ステーションまでご連絡下さい。

記

研修日程：2005年8月29日・9月8日・12日・16日・
26日(全5回)

※いずれの日程も研修は終日行い、全日程への出席が必要です。

受講費用：20,000円 (テキスト代として2,625円別途必要)

申込・問合せ先：京都市北区紫野花ノ坊町11
京都ライトハウス内
「京視協ガイドヘルプステーション」
Tel 075-463-5569
Fax 075-463-5509

■第22回京都ライトハウス 点訳ボランティア認定試験

京都ライトハウスの視覚障害者情報提供部門(情報ステーション・情報製作センター)の点訳ボランティア(晴眼者)の方の確保を目的に、次の要領で実施いたします(事前申込制)。

なお受験資格については特にありませんが、京都府・京都市の点訳奉仕員認定試験合格者以上の点訳技術・技能を有する方々を想定しています。

《会場試験》

【日 時】10月4日(火) 13時～(時間厳守)

【場 所】京都ライトハウス地下研修室1・2

【持 ち 物】点字器(点字タイプライター使用の場合は事前に申し出ること。パソコンなどの電子機器と携帯電話の持ち込みは不可)・参考資料・筆記用具

【試験内容】「校正問題試験」（点字で解答のこと）

【定 員】先着 40 人

【申込方法】はがきか封書に「点訳ボランティア認定試験
受験希望」と明記し、氏名（ふりがな）・郵
便番号・住所・電話番号・生年月日を記入し
て「京都ライトハウス 情報ステーション
矢部」までお送りください。

【申込締切】9 月 16 日（金）（必着）

《在宅試験》

会場試験の成績が一定レベル以上の方に受けていた
だきます。在宅試験のみの申し込みはできません。

【試験内容】「点訳問題・漢字読み取り点訳問題」の 2 科
目（11 月中旬ごろに実施）

お れ い

■京都洛中ロータリークラブ様

4 月 2 日、本法人と共催で創立 25 周年記念コンサート
「希望と響（共）生の第九」をハンディのある人たちと
ともに開催されましたが、そのお礼にと、4 月 26 日に玄
関入口に電光式看板をご寄贈いただきました。青地に白
抜きで、夕方になるとライトがつき、入口がよく目立つ
と好評です。

大変ありがとうございました。

■ひろた ゆきとし 廣田 幸稔様

5 月 8 日、金剛能楽堂において「第 4 回廣田鑑賞会」
を開催され、多数の視覚障害者をご招待いただきました。

「廣田鑑賞会」様は例年 2 回の演能を催しておられ、今
後は 10 月 2 日と来年 5 月 14 日に予定されています。広
く視覚障害の方々には能に接する機会を持ってほしいと望
んでおられ、視覚障害の方は学生料金、付き添いの方は
1 名まで無料とされます。

「廣田鑑賞会」様のご連絡先は 075-722-9123 です。

大変ありがとうございました。

■やすろうチャリティーゴルフ同好会様

6 月 26 日、チャリティーゴルフを開催され、多額のご
寄付を頂戴しました。ご寄付をいただきますのは、今回
で 7 回目となりました。運営資金として活用させていただきます。

大変ありがとうございました。

ご寄付ご寄贈ありがとうございます！

次の通り、数々のご芳志をいただきました。厚くお礼
申し上げます。ありがとうございました。

（50 音順・敬称略）

2005 年 4 月 1 日～2005 年 6 月 30 日

寄付金 74 件 24,736,731 円

物品寄付・ご奉仕 195 件

【寄付金】

浅山眼科医院理事長浅山邦夫、新子嘉規、安倍隆文、宇
治徳洲会病院、大目昌子、梶寿美子、加藤恵美子、加藤
眼科、加藤博史、北川診療所、京都から竹民謡会、京都
市立嘉楽中学校、京都高島屋眼科診療所、京都府社会福
祉協議会、京都 Y M C A 国際福祉専門学校、桐山眼科、
小伊藤直哉、さざなみ会、下京南地区更生保護女性会、ジョ
イント、情報ステーション募金箱、情報制作センター募
金箱、高田有基、宅配コーラスたんぼぼ、堤明子、中橋
彌光、西村清子、日本聖公会京都信徒伝道協議会、日本
聖公会京都地区婦人会、野崎義久、花園大学教務課、花
園大学社会福祉学科、浜川妙子、福井哲也、佛教大学、
前田修二、松崎小児科、水野菊子、三和町社会福祉協議
会、メモクラフト、弓削経夫、吉田幸子、栗東つくし・椿、
龍谷大学、朗読グループあいあい、わかさ生活、ワコー
ル労働組合、匿名（16 件）

【物品寄付・ご奉仕】

愛知県産業労働部・観光交流課、青木玲子、青山弘、秋
永沙千好、浅田八重子、浅見伸一、あすなろ会、明日の
友誌上ボランティア大阪友の会、東あや子、東美智子、
荒川まさ子、安藤泰蔵、池田喜美栄、伊佐迪子、石田英
世、五十川静江、磯部治、一谷孝、伊藤治子、井上ナツ子、
岩瀬正美、内田務、梅本智子、江津久巳、桜雲会、大川勝三、
大谷八重子、岡本ツヤ子、岡本久栄、沖永妙子、奥村透、
奥村久子、奥山晴生、小野登志子、小野昌子、梶寿美子、
梶原清一、加藤紀江、鎌田美代子、鎌谷成美、川坂真也、
河瀬須恵、河原畑昇、北垣せつ子、北野弘子、北村真人、
木下幸子、木村芳子、京都産業大学新社会ボランティア
サークル、京都洛中ロータリークラブ、きん藤、蔵本智子、
黒田洋子、小林光子、小湊良子、サークルにじ、佐川せつ子、
佐久間正雄、佐古信子、佐々江温子、鮫島克子、塩見章
子、柴田慶子、島津幸光、清水千恵子、常照寺、白坂澄
夫、杉浦洋子、鈴木恭子、鈴木喜代美、鈴木さほ、鈴木
昌子、高田有基、高野嘉子、高橋康信、竹内勉、武智正夫、
田中嘉代、田中長三、田中みゆき、棚橋きよ子、田辺誠
子、谷川正雄、谷口敏、田村潔、田村睦、茶壺道中保存
会、つくしの会、辻謙一、辻美也子、土本雅子、筒井千
恵、点訳なかま「しゃべりん会」、点友会、同志社中学
校、中井真寿美、永井康代、中江利彦、中川清、中島田
鶴、中島美津子、中田英子、中塚礼治郎、中村健一、中
村延子、西井千恵子、西久保京子、西野美代子、西村ゆり、
西山京子、日清医療食品近畿支店、日本ライトハウス点
字情報技術センター、日本漢点字協会、野間赳夫、パク・
チョンイム、長谷川芳孝、畑勇子、服部テル子、馬場康
子、光の音符、廣田幸稔、福井瑛子、福嶋和文、福島洋

子、福見久代、藤井綾子、藤田慧子、藤山和子、佛教大学、古河美奈、北條瀧枝、細谷昌子、堀田陽子、前田不二子、万木ふみ、松井純子、松本すみ子、美内輝子、三村敏子、三村晴子、三好千恵子、三和町社会福祉協議会、村上直子、村田雅彦、名所籌子、本永友彦、森能里子、森初子、山岸孝啓、山岸光夫、山下祐嘉里、山田多加子、山田吉太郎、山中良三、山本巖、山本英子、山本貴巳子、山本早苗、山本純、湯浅昭次、吉田唱子、吉田善次、朗読グループあいあい、わいわいネット、和田恭子、和田美和子、渡辺祐子、渡部隆三、匿名（5 件）

京都ライトハウス後援会より

次の通り、後援会費と運営資金寄付金を納入いただきました。会員の皆様のお名前を掲げ、厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。（50 音順・敬称略）

2005 年 4 月 1 日～2005 年 6 月 30 日

後援会費 1,256 件 2,512,000 円

運営資金寄付金 593 件 2,772,549 円

愛きもの、相浦綾子、青井勝豊、青井韶一、青山弘、赤井浩一、赤井達郎、赤澤宏子、赤羽順子、赤松秀之、秋田絢子、秋山順子、秋山拓也、審策太郎、アクリル点字音声、朝尾直弘、浅川三津子、浅田長男、浅野茂樹、浅見伸一、アサワ医院浅輪信子、麻生貞子、安達明彦、足立明、足立道五郎、後宮寛子、安倍光子、天鷲良雄、新井東鉉、荒垣晨二、荒川尚人、荒木あき子、荒木武資、荒木義子、安藤あや、飯田医院飯田久代、庵原清、居川幸子、井川千代子、井口和起、池垣昭和、池上和子、池田和代、池田富雄、池田はるみ、池田寧子、池西憲治、池西照子、池西正治、伊佐迪子、石井和子、石井俊之、石川直子、石黒医科器械石黒忠夫、石田和男、石田寿喜栄、石田千鶴子、石田泰子、石田祐三、伊地知康二、石原郁夫、石原かおる、石原隆生、石原信雄、石原医院石原京、石村淑子、井尻和子、井尻順子、泉福夫、伊勢村政子、伊勢村医院伊勢村卓司、五十川静江、磯辺美幸、磯村祐子、板並令子、市谷経哉、一谷哲、一谷孝、一谷彊、一ノ瀬ともえ、一色逸雄、糸井恵美子、糸井歯科医院糸井昭一、伊藤あゆ子、伊藤純男、伊東真喜子、稲田秀治、稲野一美、亥野千代子、井上医院井上佳子、井上要、井上喜一、井上協子、井上俊、井上信一、井上勢津子、井上高行、井上月就、井上照、井上明美、井上登志子、井上とし子、井上富子、井上ナツ子、井上文子、井上雅代、井上満郎、井上寛、井原圭子、今井喜美子、今井悟、今井卓雄、今堀源之助、今村幸子、今本史代、井村敬、入江渥子、入江尚子、入江裕、入江礼子、入川勝男、岩井キヨ、岩井小ミノ、岩井貞三、岩崎篤弘、岩崎四郎、岩破順子、岩野悦真、岩野キミ、岩本信子、岩屋保育園、上尾基夫、上田明美、植田喜久子、上田善次、上田次雄、上田哲子、上田直子、上田文子、上田良子、上野美知子、

上原祥子、上村卓男、植山恵、浮田寧子、請田医院請田安夫、牛若治子、臼井信子、宇高千代子、宇高真理子、内田茂、内田順子、内田務、内田亘治、内田昌一、内田与一、内海衛、烏頭尾精、梅津和郎、梅田修、梅田四郎、梅田勝、梅谷三郎、梅原恵美子、梅山弥生、裏谷時子、漆間美枝、園城寺住職福家俊明、遠藤小児科医院遠藤賢一、遠藤内科小児科医院遠藤穰、桜楓会社会部麦笛、大江富子、大頭昭一、大河歯科医院大河啓子、大口泰子、大澤俊枝、大塩まゆみ、大島和子、大嶋茂子、大嶋正夫、大城百合子、大杉康子、太田寿、大田正樹、大谷恵子、大谷八重子、大津日出子、大槻清子、大槻忠二郎、大槻登、大槻英昭、大槻由男、大坪郁子、大藤恭代、大西越巳、大西和子、大西敏雄、大西弘子、大西正広、オーネスト・オフィスサービス、大羽喜雄、大橋東洋彦、大橋よ志栄、大原社労士事務所大原耕也、大原歯科医院大原裕、大平修爾、大平ひろみ、大淵芙輝子、大前正治、大町寿美子、大町賢、大宮隆、大向久子、大目忠二・昌子、大八木明、大山悠子、岡ちか子、岡崎学、緒方裁吉、岡田幸子、岡田多栄子、岡田敏男、岡田ゆき子、岡田医院岡田安弘、岡谷房江、岡野伊三郎、岡村達、岡村伸、岡村仁志、岡村美佐子、岡村道子、岡本綾子、岡本稲丸、岡本孝子、岡本タミ子、岡本一、岡本慶子、小川和恵、小川菊、小川恭介、小川捨雄、小川たつえ、小川雅央、小川正尚、小川正義、小川祐一、荻厚子、沖田卓男、奥田隆子、奥田八重子、小國健一、奥野正子、奥村久子、奥村小児科医院奥村正治、奥山脩二、小栗定子、尾崎努、尾崎雄二郎、小笹次夫、小笹稔、長村貞子、長村陽子、小澤英明・左千子、小田京子、小田淑子、小田部榮助、落田敏治、小野桂市、小野貞子、小畑三郎、小畠クリーニング小畠実、小原健司、小原静代、尾松朝子、面谷祐三子、海保睦子、加賀美一郎、鍵井友次、垣谷忠雄、影山五郎、籠谷信男、香西和久、笠井貴美子、梶寿美子、梶宏、梶川医院梶川洋司、梶島スズ子、柏原正、梶山実・立子、梶原清一、梶原テル、片岡巴、片岡典正、片岡美宝、片岡泰子、勝山靖雄、加藤厚、加藤恵美子、加藤眼科医院加藤恵美子、加藤純、加藤進、加藤弘子、加藤博史、加藤昌子、加藤嘉計、門松秋己、角屋睦、門脇禎二、金沢蓮子、金綱隆弘、金森順子、金子宏、狩野義子、加納初子、蒲田良子、鎌田幸二、鎌谷襄、上参郷禮子、神原歯科医院高谷町江、神山貞子、亀井邦彦、亀井保幸、亀岡病院、加舎房子、唐橋ミヤ子、刈米育子、川井清人、川合啓子、川合正子、河合美千子、川勝敏子、川勝治夫、川勝峰子、川勝玲子、川上リツエ、川崎敦子、川嶋憲治、河島浩三、川島淳子、河瀬修一、河内良弘、川野邦造、河端正次、川辺あき子、川又良也、川村寿一、川村春海、河村まつゑ、川村八重子、川本脩二、川原崎寄支子、河原林崎子、木内芳子、木久茂、菊地貴美枝、菊地泰次、木坂順一郎、城崎みちる、岸陽子、岸本正子、岸本三代子、岸本良一、喜多睦男、北川眼科医院北川厚子、北川千鶴子、北岸達三、京都地域医療学際研究所木谷輝夫、北畠典生、北村和子、北村武司、北村初子、北村弘、北村裕喜子、北村良子、北山忠生、吉川医院吉川純弘、吉兆嵯峨支店、木寺宏之、木下收、木下

富雄、貴賓院善博、木村清、木村ちえ、木村俊夫、木村道子、京都山端郵便局、京都ユースホテル協会、京都桂病院麻酔科戸田寛、京都市楽只児童館、京都紫明税理士法人清水久雄、京都南病院荻野行正、清永数年、清野通子、清益英雄、吉良博視、桐山順次、桐山まき子、近畿報知機、九鬼國一、久下眞佐子、久坂夏子、日下部九州男、朽木久子、國重阿夜子、久野靖子、久保早苗、久保ハツエ、久保佳子、久保田美枝子、久保元里美、熊田きぬ、倉田時子、倉林明子、栗原和子、栗原千尋、栗原亨、黒井敦子、黒河待子、黒田五十一、黒田敏子、桑原弘子、桑原美保子、玄田公子、小池清喬、小泉直一、小出操子、公益社、香西茂、高阪昇、宏陽、高良富子、古賀豊、古賀義大、國分昌平、小島一男、小島平造、小嶋芳次、小高久仁子、児玉五十美、児玉佳代子、小寺尉就、小西アヤ子、小西憲子、小西麗子、小早川春信、小林いつ子、小林格子、小林和夫、小林君枝、小林志津子、小林満男、小林光子、小林良平、小槇紀、小湊良子、薦田守弘、小山弘、小山医院小山武彦、近藤文子、斉田律子、斎藤惇生、斎藤清子、斎藤信雄、斎藤富佐代、佐伯昌子、酒井喜美子、酒井清、酒井幸子、左海祥二郎、坂井信義、酒井診療所酒井晃、坂江節子、酒徳一、坂根医院坂根英彌、嵯峨野病院理事長清水紘、坂林澄子、坂部秀文、阪本孝子、坂本美江子、佐久間誠二、佐久間正雄、櫻井彰、桜井隆子、櫻田朋子、佐々たか、笹川公介、佐々木澄代、佐々木清八、佐々木輝彦、佐々木陽子、佐々木玲子、笹田和子、佐竹邦夫、作花清夫、さとう医院佐藤讓、佐藤清子、佐藤貞子、佐藤知子、佐藤長子、佐藤則子、佐野シゲ子、佐野瞳、佐野眼科診療所佐野裕志、澤崎英子、沢田五郎、澤田智子、澤村千恵子、産科婦人科福岡医院福岡正恒、サン工芸、山藤芳野、産婦人科内科小児科島岡医院、塩川道子、塩崎英雄、塩田善昭、塩谷歯科医院塩谷求身、塩見章子、志垣恵子、四方修、四方幸枝、四條昌彦、実業エージェンシー、篠田和子、篠原敏郎、芝恵一郎、柴田久子、芝田三佐子、紫摩勝、島崎綾子、嶋田志保子、嶋田穰次、嶋本淑、清水敬子、清水順子、清水千恵子、清水尚夫、清水日出夫、清水秀一、清水福子、清水ふみ、下園栗子、下田仁子、下羅裕子、謝名堂千賀、十二坊上品蓮臺寺高井隆成、種智院大学、白井良彦、白坂澄夫、白藤順子、城嶋辰夫、新野富貴子、末川千穂子、菅井孝雄、菅沼惇、菅原努、須河由里、杉浦正子、杉田千衣子、杉村美代子、杉本敬子、杉本富紗子、杉本康代、鈴木孝一、鈴木さほ、鈴木茂嗣、鈴木つや子、鈴木治比古、鈴木昌子、鈴間潔、須藤良治、角田清、聖ヨゼフ整肢園廣田陽代、世界思想社教学社、関本朋子、瀬崎仁、瀬戸口富美、瀬良為二、千宗左、全京都建設協同組合、千保幸子、祖谷登希雄、外野雅晴、園田香融、園田義次、染田泰子、大黒不二子、高井ゆり、高尾幸江、高木武雄、高木神経科医院高木隆郎、高崎利明、高嶋テル子、高島文一、高瀬フミ、高田みよ子、高田有基、高谷久吉、高西美智子、高野百合子、高橋功、高橋龍夫、高橋登志子、高橋信子、高橋初枝、高橋寛、高橋雅子、高橋美知子、高林実子、高松武一郎、高本薫、高山歯科診療所高山康男、宝田克男、瀧本栄造、

瀧本小児科井上静子、瀧本百合子、宅間英郎、武綾子、竹井美津子、武内民男、竹岡保枝、竹下八千代、竹下義樹、竹田俊男、武田文子、竹田義行、武智とし子、武智正夫、竹中ますみ、竹野美智子、竹村成子、竹村良三、田坂博幸、多田敦子、多田悟司、多田稔、橘洋子、立川保雄、巽友正、田所登、田中愛子、田中勲、田中英三、田中啓子、田中セツ子、田中武、田中久統、田中文夫、田中道明、田中美千子、田中村子、田中泰子(城陽市)、田中泰子(左京区)、田中芳一、田中良子、田中義人、田中嘉行、田中長奈良漬店、谷乙弘、谷直介、谷道之、谷川正雄、谷口精一、谷口妙子、谷口智慧、谷口真理子、谷田亦治、谷田鍊一、谷村栄子、谷本壽子、田畑清、田畑悟、田端節子、田淵茂彦、田淵りさ、田淵玲子、玉井春子、玉井義朗、玉木知男、田村敏明、田村良子、溜池良夫、壇上診療所壇上健作、崔春夫、竺沙光子、竹間史子、張文玉、津江叔子、塚原勇、塚本文啓、築柴恵美子、辻敬子、辻典孝、辻美智子、辻田医院辻田純二、津田ナヲ、津田喜子、津田美栄子、土田正、土谷弘子、土山緋沙子、堤明子、堤清、つとう医院伝俊秋、常見静枝、坪内正、寺倉商事、寺田昭和、寺田香代子、寺田寧子、寺田陽子、寺村智子、寺本佐備子、点訳グループ宇治川、土井善夫、遠山富士江、戸川啓、徳田英子、徳田登茂枝、徳田正子、戸田貴士、戸田政男、百々眼科診療所百々由加利、富岡美知子、富奥ケイ子、富川桂子、富田亮博、富田仁義雄、富田伴七、富田隆介、富田良一、富永芳徳、友田淳子、豊島順一、豊島千枝子、豊田寛、鳥居在子、鳥居寿一、鳥飼幸子、内科・循環器科竹上医院竹上貞之、内貴栄美子、内藤俊夫、永井春彦、永井美知子、長柄明美、中江和子、中江美智子、永雄邦子、長尾隆介、中尾由佳子、中尾和多留、長岡由巳、中奥ウタ、中川都永、中澤眞佐、永島篤穂、中嶋進、永島大資、中島田鶴、仲島トシエ、中嶋直子、中島徳郎、中島正之、中島三枝子、中島美津江、長島盲人会、中城忠治、中田英子、中田景子、永田圭子、中谷臣、中谷保子、中谷佑一、中谷徳夫、中塚清紀、中塚政義、中西勇、中西成子、中西寛、中西美代子、中西正人司法書士事務所、中根しづ子、中野進、中野澄江、中野正子、中原正子、中町松枝、中村勘三郎、中村恭子、中村芝翫、中村純治、中村延子、中村橋之助、中村福助、中村みさ子、中村義明、中村雅彦、仲矢郷子、ナクシス、名越美佐子、泥順彦、浪江宏子、並河英津子、成田ハツ、成田松代、南條ひとみ、新実新子、西医院西祥太郎、西京子、西井千恵子、西井靖雄、西尾紀子、西岡信子、西垣瑩子、西口都志子、西澤俊夫、西谷康弘、西畑貴好、西八條寛、西原宏、西村育三・季見子、西村眼科西村久子、西村清子、西村圭子、西村孝太郎、西村マリ子、西村美奈子、西村由紀子、西村好子、西本ひさ子、西依美津子、日新工芸、二之湯智、二本木健治・一美、丹羽徳子、額賀心一、沼眼科沼朝代、根岸寿、軒原ともこ、野口宝司、野口春美、野口美子、野崎昭、野崎登美子、能澤義和、野尻誠、野田つぎ枝、野田春夫、野田豊、野藤銃公、野原康、野村加代子、野村源蔵、野村元昭、野村玲子、野山寿美子、橋本善一、橋本壮一、橋本義彦、橋本内科医院橋本日出男、長谷川

きよ子、長谷川紅子、長谷川正國、長谷川美代子、長谷部眞知子、畑精、畑節子、畑一、畑正夫、羽田芳子、八本木浄、八田一郎、初田けい、初田高明、初田法子、八田良子、服部欽美、服部誠一、花園大学、花の会、埴原和子、馬場満男、浜井綾子、浜口さとみ、濱田和子、浜塚幸子、濱野孝、濱本捷子、早石多喜子、早川睦、林勝治、林トモ子、林美智子、林玲二、林野正子、原治、原正、原田尚子、原田佳子、馬場英子、馬場杉英、馬場俊明、馬場富子、樋口ツヤ子、久木利昭、久常進治、日高敏隆、樋谷辰男、一松睦子、ひとみ園、百武照日、兵藤美奈子、平岡満佐子、柊茂、平島澄江、平田文子、平松治子、平元マサエ、平山昭一、飛龍ますみ、廣岡清文、廣瀬倭男、広瀬節子、弘田トモ子、深田康夫、深見みち子、福井正憲、福来啓子、福澤昌彦、福嶋慎一、福寿園、福田幾子、福田健、福田慎吾、福田孝子、福田恒男、福田直彦、福田満子、福田光代、福田泰子、福永益子、福岡誠之、福本祐代、福本スミ子、福山功子、藤井昶夫、藤井満、藤井頼子、藤川知恵子、藤崎文子、フジタ、藤田寿大、藤田和子、藤田和代、藤田きぬ代、藤田重昭、藤田千壽、藤田敏、藤田真弓、藤田弥桐、藤田守男、藤田八枝子、藤田泰男、藤田有香、藤田力也、藤丸くに代、藤村和正、藤原医院藤原明達、藤原和子、藤原一、藤原八重子、藤原陽子、婦人科内科山下クリニック山下元、二葉テルエ、二村宏江、舟川忠次、船越正夫、舟越義男、船本裕巳子、ブラザー製版印刷工業、古田正巳、古田真理、古田悠美子、古玉医院古玉宏、古渡正記、古橋マスエ、北條瀧枝、星川節子、星名ゆり子、星野真紀子、細井辰子、細川一路、細川果苗、細川海路、細野まり、細見敦子、堀順次、堀尾光子、堀田明弘、堀之内正嘉、本田作江、本多信子、本間トキエ、前川由美子、前崎比佐子、前嶋明弘、前田和浩、前田耿二、前田ノリ、前田雅美、前田与支子、牧善輔、牧良三、牧野伸三、巻野政江、眞桑清、正木医院正木美智子、間島弘基、増田寿美子、増田チヨ子、増田富夫、栢田登、町田昭、松井郁子、松井邦芳、松井繁、松井寛、松浦希共子、松尾文子、松尾裕、松岡博、松岡良枝、松崎美恵子、松谷一恵、松永信也、松波善明・由美子、松原為和、松原義人、松村順子、松村ヨシ子、松村玲子、松本章男、松本すみ子、松本祥男、松本マサ子、的場ヒサ、間野清二郎、丸田なみ、丸山シズ子、丸山典子、萬造寺幸子、美内輝子、三浦寛一、三木一弘、三木美恵子、三木佳次、三崎博美、水口喜代子、水口幸一、水口武夫、水谷公治、水谷幸正、水谷孝昭・史子、水野朝見、水野孝道、水野光、水野美根子、溝口郁代、光橋政治、翠川医院翠川百合子、南初美、南寄寛、箕田一子、蓑毛慶一・妙子、身原正一、三村敏子、宮川絢子、宮川美知子、宮木益子、宮木マスミ、宮城由紀子、三宅康雄、宮崎恵美子、宮崎政彦、宮崎又行、宮澤一恵、宮田医院宮田健、宮田武英、宮村満、宮本教明・佐津子、三和道子、宗久剛、村井喜美子、村井茂子、村井昭治、村井眞砂子、村尾秀子、村上昭子、村上旭、村上笑子、村上志奈子、村上庄平、村上敏明、村上利子、村上三枝子、村上元治、村田昭、

村田綾子、村田栄子、村田和子、邨田志津子、村田俊志朗、村林キヌ、村山彰、村山誠己、村山ふみ子、村山三千代、村山造酢村山忠彦、室慎吾、本草野政雄、元谷義治、本永友彦、本野妙子、桃山学院、森泉樓、森紀代子、森昭一郎、森利雄、森信彦、森能里子、森内奈良夫、森田君代、森田久男、森田富佐子、森田正樹、森本明子、森本和子、森本登美栄、森吉美禰子、八木喜美子、八木源蔵、八木静子、夜久廣、矢崎次郎、安田医院安田勝、安田守男、安田陽子、矢谷美つ枝、柳谷良一、矢野昭代、藪本薫、山内昭三、山川美津子、山口英太郎、山口剛一、山口貞子、山口茂、山口豊美、山口晴生、山崎佐登子、山崎澄子、山崎テル子、山崎靖子、山崎陽子、山下一夫、山下勝子、山下通、山添善朗、山田和子、山田恭子、山田淳子、山田順三、山田亮三、山戸節子、山中昭次、山中良三、山梨浩志、山野勝美、山ノ内和美、山畑文雄、山本京子、山本恵江子、山本弘太郎、山本珠子、山本民子、山本敏雄、山本敏子、山本紀弘、山本久納、山本秀夫、山本浩貴、山本富美子、山本正子、山本光子、山本義夫、山元龍三郎、山本内科小児科医院山本苑子、山盛良子、家森幸男、八幡中央病院、湯浅鈴子、由城純子、結城ゆかり、湯川美知子、雪野英春、弓削堅志、弓削由佳、弓谷美智子、横田渥子、横田智範、横山和子、吉江英子、吉岡隆則、吉岡隆行、吉岡尚子、吉川綾乃、吉川印刷工業所、吉川幸子、吉川喜夫、吉田恵子、吉田順太郎、吉田生物研究所、吉田總一郎、吉田菜穂子、吉田久枝、吉田禮治郎、吉武晴彦、吉見よ志江、吉村市太郎、吉村克恵、吉村タツエ、吉村文次郎、吉村學、葭良緑、米田承子、米田孝、米田信、米田道正、米林正恭、寄下博司、洛南高校陸上部中島道雄、竜瀬弘、わいわいネット、若杉陽美、若林淳一、若宮修、脇勝一、脇本卯月、和田恭子、和田美和子、和田讓、渡住純代、渡辺勤子、渡辺榮子、渡邊隆夫、渡辺達郎、渡邊千順子、渡辺時寿、渡辺秀男、渡辺文子、渡部隆三、渡部幸恵、匿名（2 件）

編 集 後 記

このライトハウス通信は、ライトハウス 4 階にある授産施設「F S トモニー」で作製・印刷しております。印刷に関するお問い合わせは、F S トモニー（075-462-4467）までご連絡ください。

<おわび>前号（101 号）記事「ライトハウスだより」の中でこちらの手違いによりお名前に間違いがありました。訂正させていただきますと同時に深くお詫び申し上げます。

（誤）光島孝之様

（正）光島貴之様

本当に申し訳ありませんでした。 （ K ）